

財務状況の分析

区 分	内 容	
財務上の特徴	<p>本市は、埼玉県のほぼ中央、東京都心から約50kmに位置しており、昭和50年代以降の首都圏の拡大に伴って、人口も急増した。ただ、ここ数年は、9万人前後で推移しており、大幅な増減はみられない。また市内には、東松山工業団地を有し、各種製造業をはじめ、自動車部品加工業の集積地を形成している。平成20年度からは負担区新設に伴う区域拡大を行うなど普及率向上に向けた管渠延伸を積極的に行う計画である。そういった中、最近では、景気回復の前兆も見受けられ、有収水量が微増傾向にあるが、節水型製品の普及や生活スタイルの変化により、節水への関心が高まっており、経費回収率は高水準を堅持しているが厳しい経営状況が続いている。</p>	
経営課題	課 題	定員管理の適正合理化
	<p>「東松山市定員適正化計画」に基づき、維持管理業務の職員を削減、包括的民間委託の動向を見ながら更なる削減を目指す。給与については、各種手当を見直しながら適正化を維持し、人件費の削減を目指す。</p>	
	課 題	維持管理費等サービス供給コストの節減合理化
	<p>処理場の維持管理経費削減と効率的な管理を行う為にも包括的民間委託の導入を検討する。</p>	
	課 題	
留意事項	課 題	
	課 題	
	課 題	

注1 「財務上の特徴」欄は、事業環境や地域特性等を踏まえて記載すること。また、経営指標等について経年推移や類似団体との水準比較などを行い、各自工夫の上説明すること。

2 「経営課題」欄は、料金水準の適正化、資産の有効活用、給与水準・定員管理の適正合理化、維持管理費等サービス供給コストの節減合理化、資本投下の抑制、民間的経営手法等の導入等、団体が認識する経営上の課題について、優先度の高いものから順に記載する。また、経営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「経営課題」で取り上げた項目の他に、経営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。